

「いのち」の教育実践事例

☆高畠町及び県との連携実践 (県立高畠高等学校)

連携

協働

一保護者・地域との連携を密にし、地域に貢献できる学校をめざして一

地域社会を含めた他者と協働して主体的・創造的に取り組む態度を育成するための体験型学習の事例です。

○ 「いのち耕す体験」の実践

- ・平成 19 年から継続している 1 年次生全員の農業体験学習です。町内 35 軒程度の農家の協力を得て、田んぼの草取りやぶどうの袋かけなどをします。晴天の下、農家さんの指導を受けながら汗を流しました。
- ・高畠町が「有機農業の里」と言われるまでの苦難を知ることで、地域産業に対する認識が高まり、誇りが持てるようになります。「生きるとは食べること、いのちをいただくこと」という事実を実感し、いのちの大切さと自然・環境保全の大切さを学びます。



田んぼの中って
あったかいんだね

- ▲有機農業は「勇気」のある農業
多くの手間が安全なお米をつくる

○ ボランティア活動の実践

- ・1 年次生全員のボランティア活動です。クラス毎に町内外 3ヶ所の社会福祉施設に伺い、車椅子磨き・窓拭きなどの清掃活動を行います。また、塗り絵や折り紙などで利用者と交流を深めます。合唱「ふるさと」のプレゼントは毎年喜んでいただいています。
- ・敬老精神が高まるとともに、生徒自身が自らの在り方、生き方を考えるきっかけとなります。



♪うさぎ追いしかの山～

- ▲ふるさとの歌声に涙を浮かべる方も

○ ライフデザインセミナーの実践

- ・県が開催している「ライフデザインセミナー」に 2 年次生全員が参加しました。「マザーデザイン」代表のわだゆきこさんは、80 歳までを 24 時間に換算すると高校 2 年生は午前 5 時半だと紹介し、「皆さんは生き方を自由に決められる」とお話ししてくださいました。
- ・講演の後は、班に分かれて結婚についてのワークショップを行いました。結婚や子育てについて、前向きに考えるきっかけとなりました。



だんなさんは育メンじゃなくっちゃんね♥

- ▲あるある！パートナーに望むこと